



2024年12月26日

報道機関 各位

(名古屋教育記者会、岐阜県政記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会、郡山市役所記者クラブ)

東海国立大学機構と日本全薬工業株式会社が One Medicine による創薬・先端医療研究の革新及び Sharing Medicine の実現を加速させることを目的に、 包括連携協定を締結します

2025年1月9日に、岐阜大学と名古屋大学を運営する国立大学法人東海国立大学機構^{※1}と日本全薬工業株式会社^{※2}が、包括的な産学連携に関する協定を締結します。

本協定は、岐阜大学と名古屋大学が連携して活動する One Medicine 創薬シーズ開発・育成研究教育拠点(COMIT)^{※3}と日本全薬工業株式会社が、双方の包括的な連携協力のもと、互いの高度な研究成果、最先端情報、国内外のネットワークを相互に活用し、社会実装に向けた取組みを進めることを目的とします。

つきましては、下記のとおり締結式を行いますので、当日の取材についてよろしくお取り計らい願います。

記

日時：2025年1月9日(木) 10:30～

場所：岐阜大学本部棟 4階 大会議室(岐阜市柳戸1-1)

出席者：日本全薬工業株式会社

代表取締役社長

福井 寿一

執行役員 研究開発本部長

岩井 隆也

研究開発本部中央研究所エグゼクティブエキスパート

津久井利広

東海国立大学機構

機構長

松尾 清一

大学総括理事・副機構長(岐阜大学 学長)

吉田 和弘

大学総括理事・副機構長(名古屋大学 総長)

杉山 直

理事(岐阜大学副学長(筆頭))

王 志剛

One Medicine 創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 拠点長

秋山 治彦

One Medicine 創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 副拠点長

山中 宏二

One Medicine 創薬シーズ開発・育成研究教育拠点 拠点長補佐

前田 貞俊

Press Release

協定内容:(1)双方の研究成果の社会的活用

(2)個別の共同研究や受託研究その他具体的な取組み及び連携事業の実施

(3)最新の研究成果や社会的課題に関する情報交換

(4)上記の事項のうち、特に人獣共通医療学(Sharing Medicine)分野に関する社会実装に向けた取組み

※1 東海国立大学機構は、2020年4月、岐阜大学と名古屋大学という二つの国立大学法人による県をまたいだ法人統合により、わが国初の一法人複数大学制度による国立大学法人として設立されました。以来、両大学の個性ある発展を支えるとともに、両大学の強みから生まれるシナジーを大きく育てることで、社会課題、人類課題への貢献を目指し、教育・研究、地域創生に取り組んでいます。

東海国立大学機構 HP:<https://www.thers.ac.jp/>



※2 日本全薬工業株式会社は、1946年に設立された日本における動物用医薬品市場のリーディングカンパニーです。約700名の社員を有し、動物用医薬品の研究開発、製造、販売を行い、産業動物およびコンパニオンアニマル向けの製品ラインナップを充実させております。また、同社は福島を拠点に日本国内に幅広い販売網を持ち、他社にはない直販体制を取っています。

日本全薬工業株式会社 HP:<https://www.zenoaq.com/>



※3 One Medicine 創薬シーズ開発・育成研究教育拠点(COMIT)は、東海国立大学機構の連携拠点支援事業の支援を得ながら、世界と伍する研究拠点を目指しています。「ヒトと動物の疾病は共通」という「One Medicine」の考え方に立ち、医学、獣医学、薬学、工学等の研究者が分野横断的かつ国内外で施設横断的に連携できる環境をいかして、医学と獣医学の境界を超えた新たな学術領域「Sharing Medicine(人獣共通医療学)」を開拓していきます。

COMIT HP:<https://comit.gifu-u.ac.jp/>



【取材を希望される方へ】

事前申し込みは不要です。当日、受付にお越しください。

問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
研究推進部研究組織支援課 One MedicineTR センター支援室
TEL:058-293-3181
E-mail:comit-support@t.gifu-u.ac.jp